

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【公開番号】特開2007-215642(P2007-215642A)

【公開日】平成19年8月30日 (2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-37714(P2006-37714)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 0 A

A 6 1 B 6/00 3 2 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月22日 (2009.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験者の部位・症例・検査目的に応じて定めた X 線 C T 撮影条件のプロトコルを設定登録した D B 部と、

被験者の部位・症例・検査目的を含む検査依頼表データを入力する手段と、

この入力された検査依頼表データの被験者の部位・症例・検査目的に対応する X 線 C T 撮影条件プロトコルを上記 D B 部から検索し、その検索結果を読出す手段と、

を具える X 線 C T 装置。

【請求項 2】

病院の依頼科別であって、被験者の部位・症例・検査目的に応じて定めた X 線 C T 撮影条件のプロトコルを設定登録した D B 部と、

被験者対応の、検査依頼科、被験者の部位・症例・検査目的を含む検査依頼表データを入力する手段と、

この入力された検査依頼表データの検査依頼科、被験者の部位・症例・検査目的に対応する X 線 C T 撮影条件プロトコルを上記 D B 部から検索し、その検索結果を読出す手段と、

を備えた X 線 C T 装置。

【請求項 3】

更に、この読出されたプロトコルに従って X 線 C T 撮影を実行する手段と、

前記実行された X 線 C T 撮影時の検査情報、検査終了後の診断記録情報を前記 D B 部に記録する手段と、

を具える請求項 1 又は 2 記載の X 線 C T 装置。

【請求項 4】

上記読出した検索結果である撮影条件プロトコルを表示する手段と、表示した撮影条件プロトコルが変更されたときにこの変更後の撮影条件プロトコルを上記 D B 部に登録させる手段と、を具える請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の X 線 C T 装置。